

箕面国有林におけるニホンジカの被害対策と里山再生の取組をPR —「生物多様性研究フォーラム2020」開催—

令和2年10月18日(日)、箕面市の箕面文化・交流センターにおいて、「みのお山とみどりのフェスティバル生物多様性研究フォーラム」(主催:箕面市・NPO法人みのお山麓保全委員会、後援:明治の森箕面自然休養林管理運営協議会)が開催されました。

今年新型コロナウイルス感染症対策上、参加人数を制限しての開催となりましたが、会場のキャパシティの約半数に当たる66名(一般参加者50名、関係者16名)の参加となりました。フォーラムは、第1部では「生態系に大きな影響を与えているシカの生息状況と被害防止対策について」、第2部では「エキスポ'90みのお記念の森の森林整備と生物多様性について」、をテーマに各発表者から報告があり、その後、発表者や参加者を交えて「全体ディスカッション」が行われました。



体温計測とチェックシートを記入

生態系に大きな影響を与えているシカの生息状況と被害防止対策について

第1部では、初めに、大阪府立環境農林水産総合研究所生物多様性センターの幸田氏から箕面市のニホンジカの生息状況について、「国有林周辺ではシカ生息密度が大幅に減少している一方で、その他の地域では高密度となった場所がみられる。」等の報告がありました。続いて、(株)野生動物保護管理事務所の横山氏からは、箕面国有林におけるGPS首輪によるシカの行動特性調査について、「シカが好む場所や植生は季節ごとに異なる。」等の報告がありました。箕面森林ふれあい推進センターの瀬崎自然再生指導官からは、箕面国有林におけるシカ被害防止対策として、「シカ捕獲事業の実績」や「近畿中国森林管理局職員が開発した『小林式誘因捕獲法』や四国森林管理局が開発した小型囲いワナ『こじゃんと1号』の試行など効率的な捕獲の取組」等について報告しました。箕面市みどりまちづくり部環境動物室の岩永氏からは、箕面市におけるシカ捕獲実績として、「農業被害や市街地出没防止に重点を置いた捕獲」等について報告がありました。



当センターからシカ被害の防止対策を報告



エキスポ'90 みのお記念の森の森林整備と生物多様性について



第2部では、箕面森林ふれあい推進センターの高山所長から、「オオクワガタの棲める森づくり」の取組として、「里山再生に向けた森林整備を地域の関係団体と連携して実施していること」や「小学生や教員を対象にした森林環境教育を実践していること」等について報告しました。(株)里と水辺研究所の田村氏からは、植生調査や昆虫調査を踏まえ、「エキスポ'90 みのお記念の森における防鹿ネットは動植物の種多様性の保全・育成に効果的である。」等の報告がありました。



当センターから里山再生の取組を報告

全体ディスカッション



全体ディスカッションでは、参加者から、「シカの個体数の適正化を目指すことと合わせて、シカの被害を少なくしていくためにどのような対策をすべきか。」や「国、都道府県、市町村が連携した広域的なシカの捕獲体制は重要である一方で、連携には課題が多く難しい現状がある。」等多くの質問や意見が出されるなど活発な議論が行われました。このことから、市民から向けられている地域の森林への関心が非常に高いことを実感でき、2時間30分のフォーラムでしたが、充実した意義深いものとなりました。



フォーラム会場風景

当センターとしても、国有林の人材や技術、フィールドを最大限活用し、地域の関係団体と連携した森づくりを行うとともに、今回のようなフォーラム等の場で当センターの取組を積極的に発信することにより、地域における生物多様性の保全の取組を支援していきたいと考えています。



全体ディスカッション



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

TEL:050-3160-6745/FAX:06-6881-2055

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局 2F

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

E-mail kc_fureai@maff.go.jp

当センターの活動報告を年報としてとりまとめ、上記アドレスに掲載していますのでご覧ください。

